

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)BEC第2工場建設工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									2.9
Q1 室内環境					0.30				3.1
1 音環境				3.6	0.15				3.6
1.1 室内騒音レベル		-		3.0	0.40				
1.2 遮音		開口部の遮音性能:T-2		4.2	0.40				
1 開口部遮音性能				5.0	0.60				
2 界壁遮音性能				3.0	0.40				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音		(BEC事務所)床:タイルカーペット 天井:RW化粧吸音板		4.0	0.20				
2 温熱環境				2.6	0.35				2.6
2.1 室温制御				3.0	0.50				
1 室温		-		3.0	0.50				
2 外皮性能		(BEC事務所)外皮無しの為		-	-				
3 ゾーン別制御性				3.0	0.50				
2.2 湿度制御		-		1.0	0.20				
2.3 空調方式		-		3.0	0.30				
3 光・視環境				3.0	0.25				3.0
3.1 昼光利用				-	-				
1 昼光率		(BEC事務所)無窓の為		-	-				
2 方位別開口		-		-	-				
3 昼光利用設備		(BEC事務所)無窓の為		-	-				
3.2 グレア対策				-	-				
1 昼光制御		(BEC事務所)無窓の為		-	-				
3.3 照度		-		3.0	0.38				
3.4 照明制御		-		3.0	0.63				
4 空気質環境				3.6	0.25				3.6
4.1 発生源対策				4.0	0.50				
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆建材をほぼ全体的に採用		4.0	1.00				
4.2 換気				3.5	0.30				
1 換気量		-		3.0	0.50				
2 自然換気性能		(BEC事務所)無窓の為		-	-				
3 取り入れ外気への配慮		空気取入口及び排気口の位置がレベル4の条件を満たす		4.0	0.50				
4.3 運用管理				3.0	0.20				
1 CO ₂ の監視		-		3.0	0.50				
2 喫煙の制御		-		3.0	0.50				
Q2 サービス性能					0.30				3.4
1 機能性				3.4	0.40				3.4
1.1 機能性・使いやすさ				3.6	0.40				
1 広さ・収納性		-		3.0	0.33				
2 高度情報通信設備対応		OA機器用コンセント容量:125.487VA/m ²		5.0	0.33				
3 バリアフリー計画		-		3.0	0.33				
1.2 心理性・快適性				2.0	0.30				
1 広さ感・景観		-		1.0	0.33				
2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上		4.0	0.33				
3 内装計画		-		1.0	0.33				
1.3 維持管理				4.5	0.30				
1 維持管理に配慮した設計		評価する表の取組の合計9ポイント		5.0	0.50				
2 維持管理用機能の確保		評価する表の取組の合計7ポイント		4.0	0.50				
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30				3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		-		3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能		-		3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30				
1 躯体材料の耐用年数		-		3.0	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		-		3.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		-		3.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-		3.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用		5.0	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔		-		3.0	0.20				
2.4 信頼性				3.0	0.20				
1 空調・換気設備		-		3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備		-		3.0	0.20				
3 電気設備		-		3.0	0.20				
4 機械・配管支持方法		-		3.0	0.20				
5 通信・情報設備		-		3.0	0.20				

3	対応性・更新性		3.7	0.30		-	3.7
	3.1 空間のゆとり		5.0	0.30		-	
	1 階高のゆとり	階高:4.5m	5.0	0.60		-	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.07	5.0	0.40		-	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30		-	
	3.3 設備の更新性		3.4	0.40		-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
	3 電気配線の更新性	二重天井内:ころがし配線としている	5.0	0.10		-	
	4 通信配線の更新性	二重天井内:ころがし配線としている	5.0	0.10		-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.40		-	2.4
1	生物環境の保全と創出		1.0	0.30		-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮	公共空間からほぼ見えない為レベル3	3.0	0.40		-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30		-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR	建築物の環境負荷低減性						3.1
LR1	エネルギー		-	0.40		-	2.6
1	建物外皮の熱負荷抑制		-	-		-	-
2	自然エネルギー利用		3.0	0.13		-	3.0
3	設備システムの高効率化		2.4	0.63		-	2.4
4	効率的運用		3.0	0.25		-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00		-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50		-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50		-	
	集合住宅の評価						
	4.1 モニタリング						
	4.2 運用管理体制						
LR2	資源・マテリアル		-	0.30		-	3.6
1	水資源保護		3.4	0.20		-	3.4
	1.1 節水	節水型便器+自動洗浄水栓	4.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.7	0.60		-	3.7
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.11		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22		-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	屋根・土間断熱材、外構材、ボード	5.0	0.22		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	GL工法の採用	5.0	0.22		-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.6	0.20		-	3.6
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	SDSシートにて確認を行う	4.0	0.30		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70		-	
	1 消火剤		-	-		-	
	2 発泡剤(断熱材等)	吹付A種1Hを採用	4.0	0.50		-	
	3 冷媒		3.0	0.50		-	
LR3	敷地外環境		-	0.30		-	3.1
1	地球温暖化への配慮	LCCO2.96%	3.1	0.33		-	3.1
2	地域環境への配慮		3.1	0.33		-	3.1
	2.1 大気汚染防止	燃焼機器を採用していない	5.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25		-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
	3 交通負荷抑制	評価する表の取組合計4ポイント	5.0	0.25		-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	周辺環境への配慮		3.3	0.33		-	3.3
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
	1 騒音		3.0	0.50		-	
	2 振動		3.0	0.50		-	
	3 悪臭		-	-		-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40		-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70		-	
	2 砂塵の抑制		3.0	-		-	
	3 日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制		4.7	0.20		-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	評価する表の取組の合計4ポイント 広告物照明無し	5.0	0.70		-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	LOW-Eガラスの採用	4.0	0.30		-	

CASBEE-建築(新築)2016年版

(仮称)BEC第2工場建設工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	9.0		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	7.0		-	○	○	-	-	○	○	○	○	-	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	1.0		-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	-	-	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	8.0		2.0	-	-	-	-	2.0	-	-	2.0	2.0	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	1.0		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	3.0		1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	4.0		1.0	-	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	2.0		2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)	-
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	η AC
床	η AH	-	-
3.1.1 昼光率	0.0%	-	-
4.2.2 自然換気性能	自然換気有効開口面積率	0.0%	-

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	.0m ² /人	病床	.0m ² /床	シングル	.0m ² ツイン	.0m ²
--------	---------------------	----	---------------------	------	----------------------	------------------

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量	125.5 VA/m ²
---------	-------------------------

1.2.1 広さ感・景観

天井高	0 m
-----	-----

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース	0.5%	レストスペース	2.0%
------------	------	---------	------

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数	0 年
--------	-----

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔	0 年
--------	-----

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔	0 年
--------	-----

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔	0 年
--------	-----

3.1.1 階高のゆとり

階高	3.5 m
----	-------

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率	7.0%
-------	------

3.2 荷重のゆとり

床荷重	2900 N/m ²
-----	-----------------------

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数	0%	建物緑化指数	0%
--------	----	--------	----

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率	0%	水平投影面積率	0%	地表面対策面積率	0%	舗装面積率	0%
-----	----	---------	----	----------	----	-------	----

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI _m	-	断熱等性能等級	対象外 相当
----------------------	---	---------	--------

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年m ²	採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%
		通風を満たす教室数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%

3 設備システムの高効率化

BPI/BPI _m	非住宅 0.91	住宅	-	太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW
----------------------	----------	----	---	-----	------	------	------	-----	------

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率	0.0%
-------	------

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目	押出法ポリスチレ、エコマーク商品	ロックウール化粧巻巻指定の特定品目等	-
--------	------------------	--------------------	---

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率	0.0%
------	------

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
---------------	--------------

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP) 50未満
---------------	---	-------------------

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
---------------	--------------

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	0%	隣棟間隔指標Rw	-
地表面対策面積率	0.0%	屋根面対策面積率	#DIV/0!
見付面積Sb	30m ²	卓越風向と直交する最大敷地幅Ws	30 m
緑地	m ²	水面	m ²
保水性対策面	m ²	高反射対策面	m ²
再帰性反射対策面	m ²		